



# 学校だより

学校教育目標



さわやかな心



しんけんな目



まなぶ力

令和5年度12月号  
令和5年11月30日発行  
川口市立差間小学校



## 黄色い帽子

校長

「型くずれ 直し続ける 小径かな」、下手な俳句を作りました。「小径」は、「差間ふれあいの道」をはじめ、通学路をイメージしました。あれ？ 季語がありません。いえいえ、正しい季語ではありませんが「型くずれを直し続ける」は秋から冬にかけて、この時季ならではなのです。

毎年誤差はありますが、この時季になると、何人かの特に高学年が登下校時に黄色い帽子を被っていません。繰り返す子に尋ねると、「家（学校）に忘れた。」などと答えますが、理由は別だと思いません。気持ちは分からないでもありません。成長して、中には黄色い帽子が不釣り合いな子も…。「格好悪い」「子供っぽい」「髪型がくずれる」、そんなところでしょうか。「何人かの児童」は、放っておくと半分以上になる年もあります。そして、次の学年に無言で引き継がれます。「だって去年も…」。

春先は、年度初めの指導があって、ほぼ全員ちゃんと被ります。しかし、担任が子供たちに会うのは廊下や教室、帽子を被っていない子でも不自然ではない場所です。担任は、少しずつ帽子を被らない子が増えていることに気づきません。

夏を越えると、子供たちは変化します。成長します。通学帽について、一番先に気づくのは通学路をポタリング（自転車での散歩）する私です。「帽子を被らない子が増えてきた。」「〇〇さんが最近帽子を被っていない。」と担任に報告するので、子供たちにとって私はウザい存在です。（見られているな）と気づくと、型くずれを直すふりをする子がいます。型くずれなら数秒で直ると思いますが、私が見えなくなるまでずっと直し続ける子、葛藤する私、そんな場面を俳句にしました。（凡人）

交通安全や熱中症予防など、理由があって買い揃えていただいている黄色い帽子です。「きまりはきまり」、あえて堅苦しく表現するとそういうことになります。学校の外のことなので、徹底するのは相当なエネルギーを費やします。人間関係もぎくしゃくします。要は、自分のことは自分で判断し、「自分の体は自分で守る」ことだと思えます。日本人は、そのことを理解するけれど、自分のために実行するのは苦手です。海外生活で感じた私見です。話が拡がり過ぎてしまいました。「通学帽は、使う・使わないも含めて、自由でもいいのでは…。」「今どき…」と思うときがあります。きまりを変えた場合、黄色い帽子を被っていない子が交通事故で負傷したときの後悔も想像します。

参考までに、皆様の御意見をお聞かせください。

アンケートフォームはコドモンまたは紙面から

## 〇〇〇をいっしょに見ませんか？

※この記事につきましては、保護者や地域の方のみにお知らせするため、ホームページへの掲載は致しません。コドモン（保護者）または紙面（地域の方）をご参照ください。



日	曜日	12月の行事予定	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
1	金		B	B	B	B	B	B		
2	土									
3	日									
4	月	スクールカウンセラー来校日/学校評価児童アンケート実施日/学校保健委員会	B	B	B	B	B	B		
5	火	全校朝会	B	B	C	C	C	C		
6	水	社会科見学(6年)	B	B	B	C	C	★		
7	木	クラブ⑬/おはなし会(1-2、2-2)	A	A	B	C	C	C		
8	金	代表委員会/特支合同作品展見学(なかよし)	B	B	B	B	B	B		
9	土									
10	日									
11	月	5時間授業①					14:55			
12	火	5時間授業②					14:55			
13	水	5時間授業③/おはなし会(なかよし)					14:55			
14	木	5時間授業④/おはなし会(1-3、2-3)					14:05			
15	金	5時間授業⑤					14:55			
16	土									
17	日									
18	月	5時間授業⑥					14:55			
19	火	音楽朝会/5時間授業⑦					14:55			
20	水	給食最終日/5時間授業⑧					14:55			
21	木	4時間授業					12:25			
22	金	3時間授業/終業式					11:35			
23	土	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>3学期の主な行事予定、宿題については、12/22(金)に発行するお便りに掲載します。 3学期は 1月9日(火) からはじまります。</p> </div>	<p>◎12月中旬から5時間授業となります。下校時刻が日によって異なりますのでご確認ください。</p> <p>◎放課後、家庭や地域で過ごす時間が長くなります。下校後の過ごし方について、お子さんとご家庭でよく話し合ってください。</p> <p>◎帰宅時刻は16時30分です。</p> <p>★暗くなる前に ★事故や不審者に 気を付けて</p>							
24	日									
25	月								冬季休業	
26	火									
27	水									
28	木	学校閉庁日								
29	金	学校閉庁日								
30	土	学校閉庁日								
31	日	学校閉庁日								

★6年社会科見学の日、クラスによって下校時刻が異なります。当日、緊急メールにてお知らせいたします。

A:14:05、B:14:55、C:15:45

## 第2回学校運営協議会(11/11開催)

令和5年度学校研究主題

**自ら学ぶ児童の育成**  
～自分の力を高めるために  
自分で学習を考える児童～

差間小学校では子供たちの学力向上を目的として今年度研究テーマを上記に定めて、日々授業研究を行っています。

先生から与えられた課題に取り組むことも大切ですが、「かけがえのない自分を大切に思い、そんな自分を向上させるために自分で考え、行動(学習)できる子供たちにしたい」という教職員の願いから設定しました。

11月11日、「コンサートオブさしま」の当日、第2回学校運営協議会が開催されました。「自ら学ぶ」子供たちを育てるためのアイデアとして意見交換しました。いくつか要約して紹介します。

◎授業中、わからないことを先生に聞かず友達に教えてもらい理解できた時が嬉しかった。また、友達に自分がわかっていることを教えられた時は自分に自信が持てた。授業でも自分たちで教え合い、学びあう時間が今後さらに必要になるのでは。

◎自己肯定感が大切。小さなこと一つでもやりとげた経験をもたせられるとよい。

→自分で決めたことチェックリストを作成し、できたら○を付ける  
→○○王のような取組が増えると、さしま子供たちは意欲的になるのでは(漢字王、計算王、都道府県王など)

◎学習や学校生活、望ましい友達関係の構築のためにも、まずは、寝る時間・ゲームの時間の把握をして、規則正しい生活を。朝、元気に学校に通わせたいです。

◎子供会では、まつりの売れ残りを、自らまとめて売さばいけたり、大人にも進んでコミュニケーションをとったりしていました。こういう機会をたくさん与え、大人主導で活動するのではなく、子供達でできることを考えさせ、活動させたいです。

## 冬休みにおいて、読書の贈り物

最近、一般にも知られるようになってきた、アドベント・カレンダー。ドイツ地方が発祥と言われています。クリスマスまで一日ずつめくっていくと、中にはお菓子や、おもちゃが入っていて子供たちはめくるのを毎日楽しみにしているそうです。差間小では、図書館司書・夏目先生がひっそりと作成してくれました。中からお菓子は出てきませんが、差間小の教職員が子供のころ大好きだった本が隠れています。毎日、ひとつずつ図書委員会の子がめくっていきます。冬休みに向けて、子供たちがよい本に出合って、今よりさらに心がゆたかになり、ぽかぽかと温かい気持ちで過ごしてほしいですね。ご家庭でもおうちの方が、子供のころ大好きだった本を話し合ってみてはいかがでしょうか。



## 第5学年2組学級担任について

第5学年2組 学級担任 清水 茉汐 教諭は、病欠休暇のため、第5学年2組の学級担任には、当面の間、半田 琢巳 主幹教諭 が担当します。ご理解、ご協力の程、宜しく願いいたします。

